

## あの時出会っていなければ

私は小学校から「草花」に興味があった。当時、私の出身中学校は荒れていた。そんな中、私は、「草花」を通して三人の先生方に出会った。理科の先生・司書教諭・現業職員である。

現業職員は、以前花屋を経営しており、その経験から土作り・播種・栽培方法を教わった。理科の先生は、学校にMy花壇を造る際に協力してくれ、その後の管理も手伝ってくれた。陰ながら私のことを応援してくださった先生だった。司書教諭は、私を応援してくれ、高校進学でどこに行こうかと迷っていたとき、即、「あなたは自分の趣味や知識を活かすため農業高校に行くべきよ。」と言ってくれた。その言葉や励ましもあり、私も決心がつき、両親も納得し、農業高校に進学できた。合格発表時の先生方の嬉しそうな顔は今でも覚えている。

高校でも「草花」を通して、二人の先生方に出会った。担任と教科担である。教科担の先生は、草花の知識・栽培技術が豊富で、私は学校で学んでは自宅に帰り実践していた。3年次専攻でもお世話になった。先生の口癖は「ぼちぼち頑張りなあ。」であった。今思うと、様々な意味で、私自身この言葉に救われていたのかもしれない。

3年次進路で悩んでいたとき、担任をしてくれた先生が、「君は四大に進学しないか。成績・人柄・知識、総合的に考えて大学に行った方がいいよ。」と言われ、両親も驚いたが私も驚いた。この言葉もあり、私は大学を受験することになった。大学にも合格し、そこで教員免許も取得できた。卒業後、担任に会うと必ず「教師生活の中で、君は農業高校から四大に進学させた私の初めての生徒だよ。今は同じ教職員として頑張っていることが嬉しいよ。」と言う。

今でも思う時がある。中学校・高校時代に、この先生方に出会っていなければ、私は今何をしているのだろうと。私は、5年間講師をした後、現在は農業高校に勤務している。私が出会った先生方のように、生徒を変えられるかどうかは分からないが、私の経験を活かし、微力ながら生徒に還元していきたいと思っている。

川田原 正樹

(一般)